

土木部課長の異動

丹 波 浪 人

△宮城縣土木部長の伊藤敷君が、詰らぬ事件に引懸つて休職に爲つたので二三の土木主任官が異動した、伊藤君の眞價を知る人々は、彼に尠なからず同情して、一日も早く晴天白日の身と爲るやうに祈つてゐる、否な筆者は祈るところでは無い當然其の日の來ることを確信するものである、夫れは兎も角として、近頃土木疑獄事件が各地に摘發されてゐることは、假令夫れの多くが公判に於て無罪に爲るにしても、一時は世人をして陰鬱化せしむることだけでも不快だ、此際互に疑はれ無いやうにするのが肝要である、内務省の某課長が之に鑑みて、お互に注意しやうぢや無いかと警告したと傳へられてゐるが、轉ばぬ先の杖だ、可い思ひ附きと言ふべきである。

△伊藤君の後を襲つて宮城の土木部長に爲つた土肥憲二

郎君、彼は屢本誌で紹介したやうに、聞かぬ氣の男だ、大正四年東大の出身だから此前の土木部長の異動のときにも噂に上つた位で、今頃土木部長に爲るのは、手腕家たる彼にとつては遅くとも早くは無い、行く先宮城には、彼が會て福島で仕へた赤木長官がある、彼は冷靜鐵のやうな男、夫れに土肥は熱血男兒、甘く歩調を合せて行くか懸念に堪へない氣もする、蓋し福島に部下として居たとは言ふものゝ内務部長が居て、兩者の緩衝地帯の役を勤めて呉れたが、此度は兩者直接の關係を生ずるからである、

宮城は東北地方に於ける一等縣には違ひはない、同地に居住する勅任官は知事を始めとし、師團長、大學の先生乃至は裁判所の連中と何でも二十數人あると言はれてゐる位に澤山な役人がゐる、で部長に爲つてゐても福島の片田舎



土肥 憲二 君郎

とは違つて、君の社會的地位が高まつたと言ふ譯でもない、夫れに一等縣とは言ふものゝ君の主督する土木は、福島の方れよりは貧弱なので、君が汗を出して手腕を振ふだけの餘地がないであらう、で長官の御機嫌を損じてまで事業慾を發揮せなくとも君の手腕のあることは知る人ぞ知るだ、永年各地に轉々して随分苦勞もして來たのだから、松島の勝地に浩然の氣でも養つて、君の手腕を自由に振はしめて呉れる、府縣土木部長の椅子の空くのを待つことだ。

△土肥君の後を襲つた大石巖君も、矢張り大正四年東大の出身で、福島に轉じたのも當然の順序と言つて可い、彼が群馬から石川に轉じたときは尠ならず不平顔をしてゐたが、石川では例の松任町の火災復舊に方つては奔走是れ力め、同地に立派な都市計畫事業を執行したり、金澤の都

計として街路を擴張したりして積極的な男に爲つたことが、今回の榮轉を齎したのであらう。



大石 巖 君

曾て青森縣時代に、今の社會局長官の丹羽さんを怒らせたやうな短氣も出さないやうに爲つて、人間が出來て來た、ズウズウ辯の福島人間を相手にすることは朝飯前のことであらう。

此度の異動は小範圍であるのと、當然の順序を逐ふて鰻上りに上らせたので餘り評するだけの價値もないが、府縣土木主任官の意氣は消沈してゐる、夫れに盟廻し式異動は餘り感心しない、官吏の身分が保證されたにしても無能の者は宜敷之を誡首して、新進拔擢の方法を採らなければ、地方土木の成績はいつまでも擧らないことに爲る、傳へらるゝ所に依ると、近く内務本省技術官の交迭もあるそうだから、此機會に一大整理を斷行して、我が土木技術界に生氣を注入することが肝要であらう。